

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	人文社会特論B		
英文授業科目名	Researches in Humanities and Social Sciences B		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1 - 815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>日本の現代文学者の中で、最初に世界的な話題となったのが、三島由紀夫である。この講義では、その三島文学の特質について詳しく考えてみたい。</p> <p>諸君も、『潮騒』や『金閣寺』という作品名は、知っていることと思う。この講義は、それらの作品の内部に分け入って、三島由紀夫という文学者の精神構造を解明したい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特に、なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特に、なし。

【教科書等】
<p>教科書： 新潮文庫『文豪ナビ・三島由紀夫』、420円。</p> <p>その他、適宜、プリントも配布する。</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初に、三島由紀夫がどういう人物だったのか、何を考えて生き、どういう死に方をしたのかを、年譜を追って説明する。

ついで、三島文学の中から短編小説を選んで、具体的に熟読する。

さらに、三島文学の誇る傑作長編を解説する。『金閣寺』『潮騒』『仮面の告白』などである。

最後に、三島の評論を読み、彼が日本文化の本質をどのように把握していたのかを解説し、三島文学の現代性について考える。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。これを提出していなければ、試験の成績からワンランク下げる。また、何回か出席を取る。

学期末試験は、この講義に触発されて諸君がどのくらい書物や新聞を読んだか、この講義と自発的な思索によって諸君がとれだけ新たな認識に到達したか、その点を考慮して採点する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

三島由紀夫は、ノーベル文学賞を受賞できませんでしたが、受賞した川端康成は三島の恩師でしたし、大江健三郎は三島のライバルでした。そして、次のノーベル文学賞の最有力候補である村上春樹も三島の影響を受けています。どこに、三島文学の魅力があるのか、それを一緒に探究しようではありませんか。

【その他】